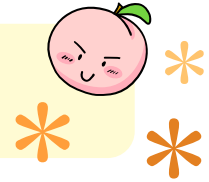


お茶のお話（小）



みなさん、こんにちは。今日はお茶のお話です。

みなさんは、「茶摘み」の歌を知っていますか。3年生の音楽の時間に登場します。

「茶摘み」の歌は、夏のはじめの茶摘みの風景を歌ったものです。

歌詞にある八十八夜は、春が始まる日である立春の2月4日から

数えて、88日目のことで、毎年5月2日ごろにあたります。この

数日後が夏の始まりである立夏なので、八十八夜は春から夏へ移り

変わる節目の日です。このころにお茶の新しい芽が育ち、茶摘みの

時期を迎えます。特に八十八夜に摘まれたお茶を飲むと長生きがで

きると、昔から言い伝えられています。

また、八十八という漢数字を組み合わせると、漢字の「米」にな

ることから、米を作る農家にとって八十八夜は、米の苗を作ったり、

田を耕す目安となる特別な日だったそうです。

今日は抹茶デザートをつけました。お茶の味や香りを楽しみましょう。

※ 放送委員さんへ

最後に音楽をかけていただくと、より雰囲気を楽しむことができます。

《 歌詞 》

♪ 夏も 近づく 八十八夜

の 野にも 山にも 若葉が 茂る

あれに 見えるは 茶摘みじゃないか

あかねだすきに 菅の笠